

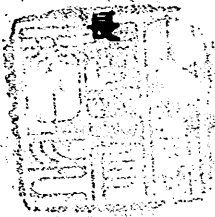
裏面白紙

内閣閣甲第二九七號

昭和十八年九月二十一日

書記官長

内閣書記官



樞密院書記官長 殿

會計検査院長 殿

行政裁判所長官 殿

貴衆兩院書記官長 殿

(各通)

書記官

現情勢下ニ於ケル國政運営要綱別紙ノ通過議決定相成候ニ就テハ右要綱ノ實行案トシテノ貴廳關係事項ニ關スル措置案來ル二十六日正午迄ニ御提出相成度命ニ依リ照會ニ及ビ候

追テ右措置案ハ等ニ機密ノ取扱トセラレ度又御提出ノ際ハ其ノ寫十部添附相煩度

高文

113

九月二十七日(用)阿部一太二九七号ヲ以テ所記
 今相好角ノ就テハ所遊言ニ事ヲ集事トシ
 大ラキ事ナリヲ抽クハクハク事ナク陰ノ特殊ノ
 有ルニ有ル人ハトノ及テ所記ノ今ノ格運
 事ハトノ格運ノ事ナリト云フハ所記ノ事ナリト云フハ
 事ナリト云フハ所記ノ事ナリト云フハ

裏面白紙

極秘

現情勢下ニ於ケル國政運営要綱

方針

内外ノ現時局ニ適ミ悠久ナル國體觀念ニ徹シ愈々必勝ノ信念ヲ堅ウシ、各種ノ施策ヲ完遂ノ一點ニ集中シ、以テ、舉戦目的ヲ完遂セントス。之ガ爲

一 統帥ト國務トノ關係ヲ更ニ緊密化シ、其ノ間ニ寸隙ナカラシメ、雄渾活潑ナル戦争指導ノ遂行ヲ期ス。

二 雄渾活潑ナル作戰ニ即應シ國內諸般ノ要勢ヲ徹底的ニ強化ス。

三 戦争完遂ノ一環トシテ機敏勝利タル外交ヲ行フ。

國內態勢強化方策

第一、國內態勢強化ノ目標ヲ左ノ諸點ニ設ケ。

- 一、官民ヲ擧ゲテ常ニ今次聖戰ノ本義ニ徹セシムルト共ニ、其ノ容易ナラザル大業ナルコトヲ覺悟セシメ、愈々必勝ノ信念ヲ以テ、不屈不撓、盡忠報國ノ誠ヲ致サシム。
- 二、國力ヲ擧ゲテ軍需生産ノ迅速増強ヲ圖リ、特に航空戦力ノ増進的擴充ヲ圖ル。
- 三、日滿ヲ通ズル食糧ノ絶對的自給態勢ヲ確立ス。
- 四、國內防衛態勢ノ徹底強化ヲ圖ル。

第二、國內態勢強化ノ爲メニ執ルベキ方途左ノ如シ。

一、今次總戦ニ對スル思想ヲ確立シ、民心ノ作興ヲ期シ、國內言論ノ指導ヲ強化スルト共ニ、國內諸般ノ取締ヲ強化シ、苟モ國論分裂ノ虞アル者ニ對シテハ徹底的ノ措置ヲ講ズ。

二、行政運営ノ決戦化ヲ圖ル。
之ガ爲

- (1) 政務執行ノ敏速化ノ徹底ヲ圖ル。
- (2) 中央各廳業務ヲ徹底的ニ地方廳ニ移讓スルト共ニ地方行政ノ簡素敏活ヲ圖リ向ホ地方行政協議會ノ機能ヲ強化ス。
- (3) 豫算ノ徹底的單純化。
- (4) 官廳事務ノ徹底的簡素化就中許可認可事項ノ整理特ニ重要企業



ニ對スル書類並監督制ノ廢止、監督系統ノ簡易化、決戦ニ不必要ナル行政事務ノ廢止ヲ徹底的ニ行フ。

行政機構ヲ整理シ、其ノ徹底的簡素化ヲ圖ルト共ニ決戦行政遂行ノ讓勢ヲ整ヘシム。

作業總ノ施設並ニ人員ノ能率ノ徹底向上ヲ圖ル。

前各號ニ關聯シ、再ビ官廳人員ノ大巾縮減ヲ行フ。

重要生産ニ對スル軍官發注ノ統一ヲ圖ル。

一層官紀ノ肅正ヲ圖リ之ガ爲必要ナル措置ヲ講ズ。

(丙)官廳職務ノ決戦化ヲ圖ル、

(註)時間ノ絶對的勵行、土曜半休制ノ廢止ヲ行ヒ、且晝夜ヲ通ジ、

又休日ト雖モ、官廳ノ機能ヲシテ斷續ナク運行セシムル如ク

指置ス、

三、國民動員ノ徹底ヲ圖ル、

之ガ爲

(イ)一般徵集猶豫ヲ停止シ理工科系統ノ學生ニ對シ、入營延期ノ制ヲ設
ク、

理工科系統ノ學校ノ整備擴充ヲ圖ルト共ニ法文科系統ノ大學、専門
學校ノ統合整理ヲ行フ、

普通教育ノ爲ニ必要ナル教員ノ確保ヲ圖ルト共ニ其ノ採用ニ付テハ

廣ク教材ヲ得ルノ措置ヲ講ズ、

(四) 徵集徵用ノ範圍ヲ擴大普遍化シ、特種技術ヲ掌ル者以外ノ除外例ヲ撤廢ス、

(五) 女子ノ勤員ヲ強化ス、

(六) 速ニ勤勞配置ノ適正ヲ圖ル、

(七) 停年制ヲ撤廢スル等各職域ニ於ケル年齢ノ制限ヲ撤廢シ高齡者ノ活用ヲ圖ル、

(八) 第三九一〇項ニ基ク官廳等ノ整理ニ依リテ、生ズル所ノ人員ハ、綜合的計畫ノ下ニ、悉ク、之ヲ戰爭遂行ニ參與セシム、

(九) 義務教育八年制ヲ引續キ延期ス、

四 國內防衛態勢ノ徹底強化ノ爲、特ニ左ノ方途ヲ執ル、

(イ) 國內防備行政ノ統一的運営ヲ圖ル。

(ロ) 國家重要ノ地區、軍事上重要ナル施設並ニ軍事上重要ナル工場鑛山ニ對シ、渾力防空ヲ強化ス。

(ハ) 帝都及重要都市ノ防備ヲ全クスル爲ニ之等ノ都市ニ於ケル官廳工場、家屋等ニ對シ必要ナル整理ヲ行フ、

之ガ爲官廳ハ率先シテ措置ヲ講ズ、細目ハ別紙ノ如シ、
公共團體、各種外廓團體、各種統制機關、統制會社等ハ官廳ニ準ジ、
所要ノ整理ヲ行フモノトス、

(ニ) 前述ニ關聯シ、遠ニ官廳兵ノ他ノ後構並ニ人員ノ地方分散ノ綜合的計畫ヲ樹立實行ス。

(三) 民間ノ企業整備ヲ促進シ、官廳ノ整理ニ準ジテ、帝都及重要都市ニ

於ケル家屋店舗ノ整理ヲ行フ、

其重要企業ノ國家注ヲ經營上更ニ明確ナラシメ、生産責任制ヲ確立セシムル如ク諸般ノ措置ヲ講ズ、

六、海陸輸送ノ一貫的編化ヲ圖ル、

七、租税及國民貯蓄ヲ更ニ強化シ徹底的ニ資金ノ威力集中ヲ圖リ其ノ效果ヲ最大限ニ發揮セシム、

八、價格及配給制度ノ徹底的簡素化ヲ圖ル、

九、各種外郎團體ハ官廳ニ準ジ之ヲ整理シ及業務ノ運営ニ徹底的刷新ヲ圖ル、

一〇、各種統制機關或ニ統制會社等生産第二線部面ニ對シ徹底的整理ヲ行フト共ニ其ノ業務及事務ニ付キ、官廳ニ準ジテ徹底的刷新ヲ行ヒ、其

ノ人員ヲ縮減ス。

備考

方針一、及三ニ關スル方策ニ付テハ別途考究ス

裏面白紙

(別紙)

帝都及重要都市ノ防衛ニ關シ官廳ノ措置
スベキ細目

- 一、官設工場ニ付テハ其ノ業務ヲ地方工場ニ移管シ、之ヲ廢止ス。
- 二、要綱第三項ノ(イ)號ノ措置ニ即應シ、學校校舍ノ整理ヲ行フ。
- 三、官廳事務ノ徹底簡素化ニ即應シ官廳廳舎ノ整理ヲ行フ。
- 四、帝都並ニ重要都市ニ存在スルコトヲ必要トセザル各種官廳施設ノ地方移轉ヲ行ヒ、其ノ廳舎ヲ整理ス。
- 五、之等ニ關聯シテ官廳廳舎ノ再建設ヲ行ヒ防空設備良好ナルモノニ兼中シ、廢錫ナル廳舎ハ、之ヲ撤去疎開ス。